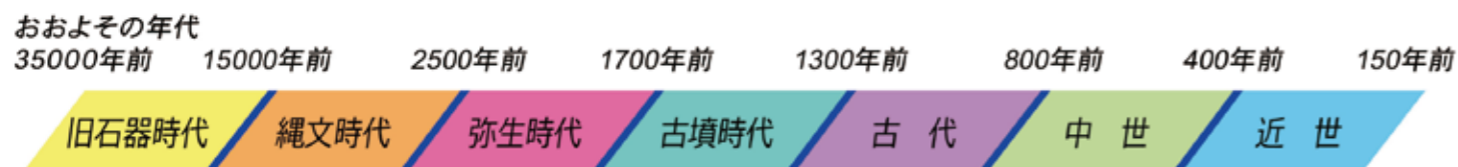


古墳(1号墳)の調査



伊勢原市街地を一望できる大山山麓の鈴川右岸(段丘面)において、古墳2基を発見しました。これらのうち1号墳は、外側の方形石積や石室を二重に巡る墳丘内石列を持つなど、伊勢原市内、神奈川県内のみならず、全国的にも大変めずらしい墳丘構造をしています。今回の調査は、これまで大きな古墳の分布が確認されていなかった大山山麓に造られた貴重な古墳の調査事例として注目されます。



今回の調査で発見された遺構・遺物のおおよその時期を示しています。



子易・中川原遺跡 古墳全景

今回の調査で明らかになったこと

- ①子易地区の鈴川右岸で、古墳時代後期の古墳2基が発見されました。
- ②1号墳は、墳丘の内側に二重の墳丘内石列を巡らせて、外側には方形の石積みを配置する方墳(墳丘下段が方形、上段は不明)であることが分かりました。
- ③1号墳の墳丘中央部には、川原石を積み上げた横穴式石室が確認されました。
- ④1号墳の石室入口は、南東側の調査区外にあるものと推定されます。
- ⑤1号墳の石室床面は石敷きで、床面からは人骨が検出されています。
- ⑥2号墳は、墳丘の石積みや周濠の形状から円墳と推定されます。
- ⑦2号墳の周濠からは、7世紀代の須恵器がほぼ完全な形で出土しています。

主催：公益財団法人かながわ考古学財団
 共催：伊勢原市教育委員会



地域の特色ある
埋蔵文化財活用事業

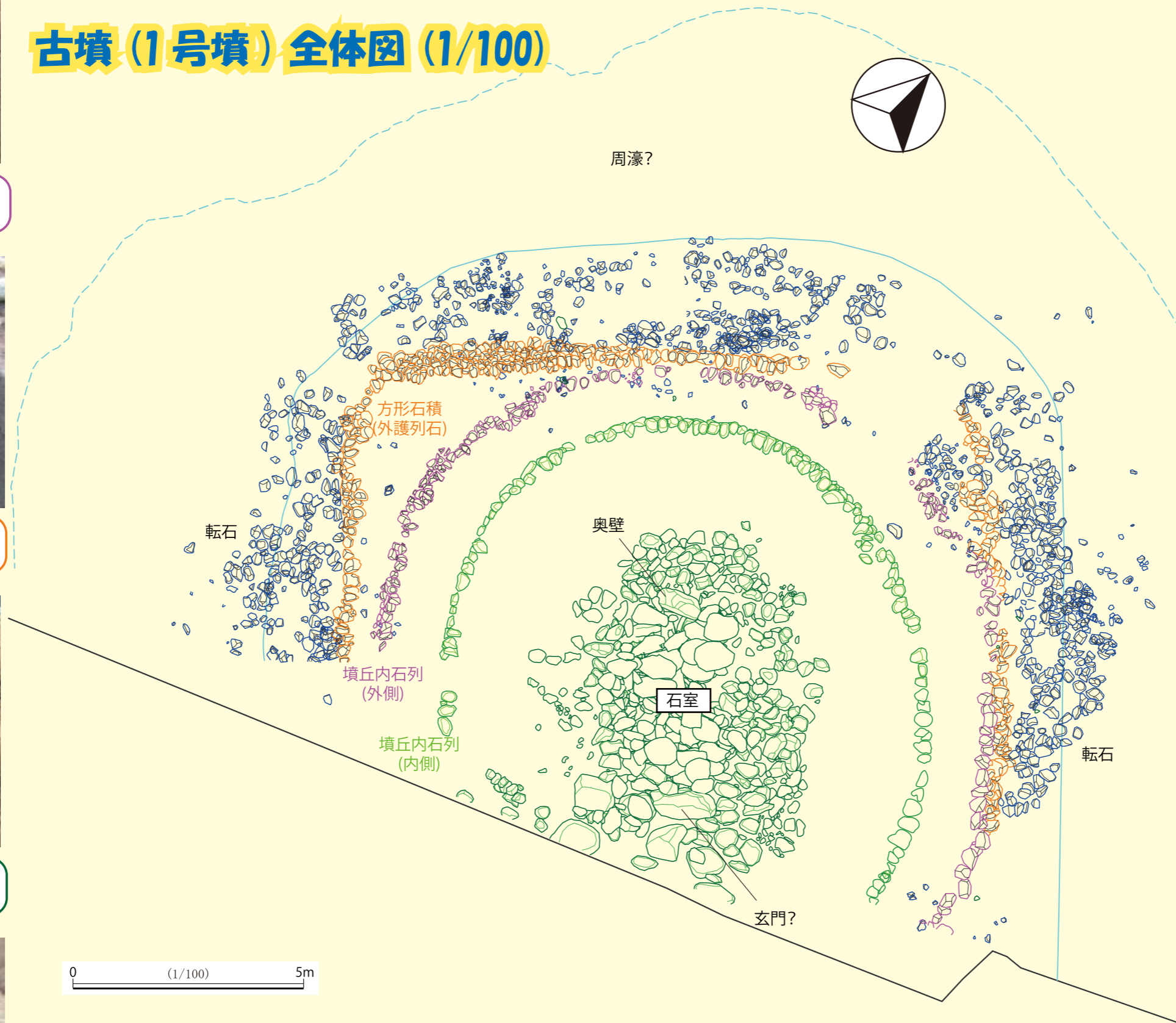


新東名高速道路建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査
 伊勢原市子易・中川原遺跡
 2018年10月6日

公益財団法人かながわ考古学財団
 〒232-0033 神奈川県横浜市南区中村町 3-191-1
 Tel: 045-252-8689(代) URL: <http://www.kaf.or.jp>

子易・中川原遺跡 6-3 工区

古墳(1号墳)全体図(1/100)



石室の検出状況



検出当初 (北西から)



小礫除去後 (南東から)



天井石除去後 (南東から)



床面検出 (南東から)



▲墳丘を外周する方形石積と内側で二重に巡る墳丘内石列 南西から



▲方形石積の基底部と墳丘内石列(外側)の基底部 北西から



▲玄室(横穴式石室)の奥壁(2段積み) 南東から



▲玄室(横穴式石室)の床面から検出された人骨(歯) 南東から

墳丘形態：方墳(下段が方形、上段は不明)、周濠は不定形
方形石積：一辺 14.8m(上端)、墳丘西隅に隅切り、小口積み、最大 5 段(現存)、傾斜角約 60 度
墳丘内石列(外側)：主軸長 14.0m(推定)、副軸長 13.6m、小口積み、段数不明
墳丘内石列(内側)：主軸長 11.8m(推定)、副軸長 10.5m、小口積み、段数不明
石室(横穴式石室)：主軸長 7.9m(現存)、副軸長 6.8m(推定)、玄室主軸長 3.7m(内寸推定)、奥壁 2 段積み